



たかはるちょう

第39号

平成24年 1 月臨時会 (第1回)

平成24年 2 月臨時会 (第2回)

平成24年 3 月定例会 (第3回)

議会だより



狭野小学校入学式

- 平成24年度高原町一般会計予算・・・・・・・・・・・・・P 2
- 審議結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3～P 4
- 議案質疑、一般質問、総括質疑・・・・・・・・・・・・・・・・・P 4～P 11
- 峰寿園紹介、編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 12



the most beautiful
villages
in japan

■発行／高原町議会

☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-2111

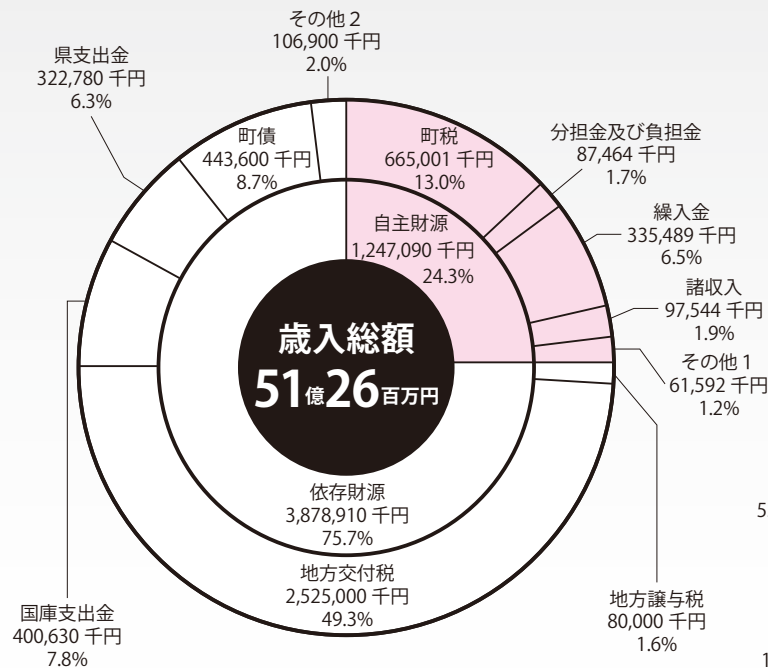
■発行日 平成24年 5 月15日

■編集／議会だより編集委員会

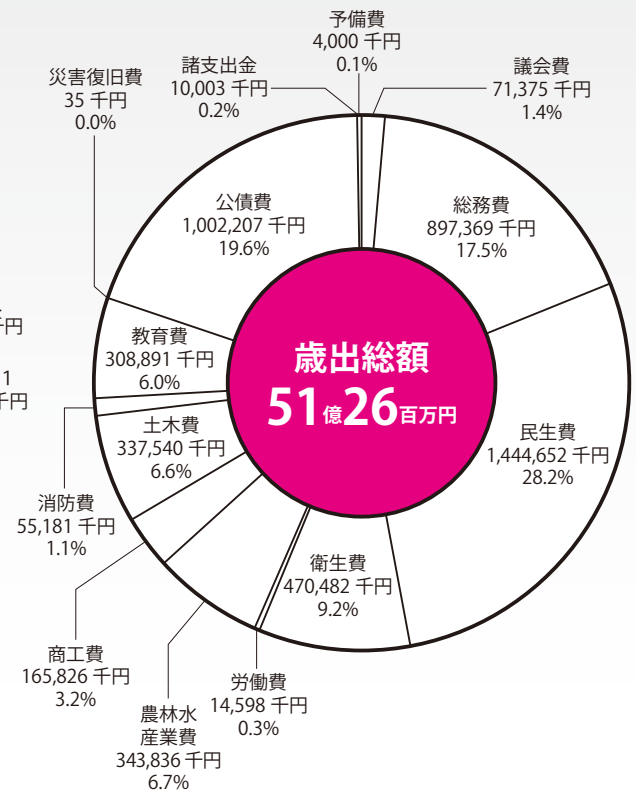
平成24年度 一般会計予算

51億2,600万円

歳入



歳出



(単位: 千円)

区 分		平成24年度当初予算 (A)	平成23年度当初予算 (B)	比 較	
				増 減 額 (C) = (A) - (B)	増減率% (C) / (B)
一 般 会 計		5, 1 2 6, 0 0 0	5, 0 9 7, 0 0 0	2 9, 0 0 0	0. 6
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	1, 6 7 0, 3 7 6	1, 6 9 7, 2 5 4	△ 2 6, 8 7 8	△ 1. 6
	介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	1, 1 1 3, 3 6 0	1, 0 5 4, 6 3 1	5 8, 7 2 9	5. 6
	農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	2 7, 5 0 8	2 0, 3 8 1	7, 1 2 7	35. 0
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業 特 別 会 計	1, 4 8 5	3, 7 8 4	△ 2, 2 9 9	△ 60. 8
	公 共 用 地 取 得 事 業 特 別 会 計	6, 2 8 5	1 2, 6 8 0	△ 6, 3 9 5	△ 50. 4
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	2 9 7, 4 2 8	2 7 5, 0 0 1	2 2, 4 2 7	8. 2
	病 院 事 業 会 計 (収 益 的 収 入)	1, 0 0 2, 5 5 4	9 9 8, 3 8 5	4, 1 6 9	0. 4
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計 (収 益 的 収 入)	1 8 6, 2 8 9	1 8 4, 6 3 4	1, 6 5 5	0. 9
	工 業 用 水 道 事 業 会 計 (資 本 的 収 入)	2, 3 0 2	2, 3 6 4	△ 6 2	△ 2. 6

平成24年 第1回臨時会議議決内容

平成24年1月20日(金)

議案番号	件名	議決結果
承認第1号	専決処分について 高原町税条例の一部を改定する条例	承認
議案第1号	保育所の設置及び管理に関する条例の全部を改定する条例	可決
議案第2号	平成23年度高原町一般会計補正予算(第9号)	可決
議案第3号	平成23年度高原町病院事業会計補正予算(第1号)	可決
発議第1号	高原町議会の議決すべき事件を定める条例(案)	可決

平成24年 第2回臨時会議議決内容

平成24年2月22日(水)

議案番号	件名	議決結果
議案第4号	指定管理者の指定について	可決

平成24年 第3回定例会議議決内容

平成24年3月8日(木)

議案番号	件名	議決結果
陳情第1号	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める陳情書	採択
陳情第2号	「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書採択に関する陳情	委員会付託
報告第1号	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	報告
議案第5号	体育指導委員条例の全部を改正する条例	可決
議案第6号	高原町病院事業における剰余金の処分に関する条例	可決
議案第7号	分担金を徴収すべき事業について	可決
議案第8号	平成23年度高原町一般会計補正予算(第10号)	可決
議案第9号	平成23年度高原町住宅新築資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第10号	平成23年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第11号	平成23年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第12号	平成23年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第13号	平成23年度高原町水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第14号	平成23年度高原町病院事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第15号	町道の廃止について	可決
議案第16号	町道の認定について	可決

平成24年3月26日(月)

議案番号	件名	議決結果
議案第17号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第18号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第19号	高原町税条例の一部を改正する条例	可決
議案第20号	高原町消防団員の家族に対する功労報奨金の支給に関する条例	可決
議案第21号	高原町介護保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第22号	西諸地域介護認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約	可決
議案第23号	平成24年度高原町一般会計予算	可決
議案第24号	平成24年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決
議案第25号	平成24年度高原町農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第26号	平成24年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決

議案第27号	平成24年度高原町介護保険事業特別会計予算	可 決
議案第28号	平成24年度高原町公共用地取得事業特別会計予算	可 決
議案第29号	平成24年度高原町後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第30号	平成24年度高原町水道事業会計予算	可 決
議案第31号	平成24年度高原町病院事業会計予算	可 決
議案第32号	平成24年度高原町工業用水道事業会計予算	可 決

平成24年3月27日(火)

議案番号	件 名	議決結果
同意第1号	副町長の選任について	同 意
議案第33号	西諸広域行政事務組合の財産処分について	可 決
議案第34号	高原町第5次総合計画の策定について	可 決
議案第35号	平成23年度高原町一般会計補正予算(第11号)	可 決
議案第36号	道路陥没事故による和解及び損害賠償の額を定めることについて	可 決
陳情第2号	「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書採択に関する陳情	可 決
発議第2号	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める意見書(案)	可 決
発議第3号	「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書(案)	可 決
発議第4号	高原町議会委員会条例の一部を改正する条例(案)	可 決

議案質疑

第1回臨時議会

議案第1号

○保育所の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例

中村 昇議員

(問) 指定管理者へ移行後の職員の処遇は。

(答) 保育環境の変化や負担がかからないよう現体制を引き継ぐ。

議案第3号

○平成23年度高原町病院事業会計補正予算(第1号)

宮司 勲議員

(問) 給食業務の委託を4年間やってきて直営方式と委託方式の問題点は。

(答) 良好に推移している。

清水公雄議員

(問) 不採算地区運営対策費(4,592万円)の説明を。

第2回臨時議会

議案第4号

○指定管理者の指定について

宮司 勲議員

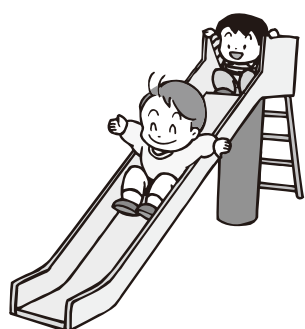
(問) 措置費の推移は。

(答) 平成22年度の3保育所の運営費は約7,000万円である。平成24年度の3保育所の委託料は5,600万円を見込んでいる。

(問) リスク分担という考え方は。

(答) サービスの低下を招かない事が大変重要なので、社会福祉協議会の組織の充実を図り、保育所運営についての知識、また指導を徹底できる体制を構築する。

(答) 人口集中地区以外の区域に所在し150床未満の病院に該当するので、ベッド1床あたり82万円で56床の積算である。



第3回定例会

議案第5号

○体育指導委員条例の全部を改正する条例

宮司 勸議員

(問) 委員の定数の考えは。

(答) 4校区を基準にして、それに女性委員2人を加えて7名の定数である。

清水公雄議員

(問) スポーツ推進委員の待遇は。

(答) 非常勤の特別職の報酬対応である。

議案第8号

○平成23年度高原町一般会計補正予算(第10号)

前原淳一議員

(問) 医師確保等対策事業補助金(1,850万円)は。

(答) 全国の公立病院が地方公営企業への繰出金の基準に基づいて一般会計から病院事業会計へ繰り入れする。

(問) 学校管理費の空調機整備後の電気料は。

(答) 小学校が125万円、中

学校が106万円と積算している。

(問) 保健体育費の山元町からの交流人数は。

(答) 保護者・指導者4名を含んで16名である。

温谷文雄議員

(問) 賦課徴収費の委託料293万9千円減額の説明を。

(答) 固定資産家屋新築等調査業務委託料185万円、国土調査図修正測量業務63万9千円、不動産鑑定業務45万円の減である。

(問) 子ども手当が

4,896万1千円と大きな減額の理由は。

(答) 3歳未満児童が一律1万5千円、3歳以上小学校修了児童までが第1子・第2子1万円、第3子以降1万5千円、小学校修了後中学校修了前児童が一律1万円ということ減額する。

(問) 農業体質強化基盤整備促進事業とは。

(答) 暗渠排水事業は、南俣土地改良区が120万円、狹野土地改良区が250万円、湯之元土地改良区が100万円である。

入佐廣登議員

(問) 園芸振興費の生葉洗浄機の価格は。

(答) 308万7千円である。

(問) 茶業農家戸数と面積は。

(答) 戸数15戸で面積は約21ヘクタールである。

中村 昇議員

(問) 学校の空調機設置の発注は町内業者が対象か。

(答) 指名審査会で決定する。

(問) 空調機の使用規定はあるのか。

(答) 詳細な部分までは詰めていない。今後詰める。

宮司 勸議員

(問) 学校空調機整備事業の経緯は。

(答) 降灰対策事業として国から3分の2の補助を受けているので、降灰が教室内の進入を防ぐために、完全密封して授業することが基本である。

(問) 体育館等も設置されるか。

(答) 体育館・武道場は設置の予定はない。

(問) 財政調整基金の残高は。

(答) 10億3,130万円程度の見込みである。

(問) 新燃岳噴火災害復興基金の残高は。

(答) 3,355万5千円である。

(問) 浄化槽設置事業の減額の理由は。

(答) 住宅新築に伴う基数が21基、単独槽及びくみ取り槽の改築に伴う工事が30基である。口蹄疫や新燃岳噴火による景気の低迷の影響があると考えられる。

(問) 緊急雇用創出事業の減額の理由は。

(答) 7事業に取り組んでいたが、2事業が所要額が不用となった。

議案第9号

○平成23年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)



北迫 泉議員

(問) 法的措置の減額ということとは、23年度は事業がスムーズに行われたのか。

(答) 償還指導と生活の立て直し等の協議に時間を要したためである。

議案第10号

○平成23年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

宮司 勸議員

(問) どういう病気が高額医療費として多く充当されているか。

(答) 糖尿病・腎疾患関係である。

(問) 歳入の827万1千円の減額は。

(答) 被保険者数の減である。

前原淳一議員

(問) 出産育児金が418万円の減額の理由は。

(答) 25人を見込んでいたが、実際は16人となった。

議案第15号

○町道の廃止について



中村 昇議員

(問) 認定になる路線で未舗装の部分があるのか。

(答) 中入5号線・中入4号線・黒鳥川内1号線・黒鳥川内5号線である。

一般質問

教育行政



中村 昇議員

○一体型小中一貫教育について

(問) 小中学校規模適正化検討委員会の答申で9年制小中一貫教育も見据えられている。

施設一体型小中一貫校は、広島県呉市で始まり、導入理由は中一ギャップの解消であった。小中一貫教育はそのための有効な手段とされている。しかし、この議論は十分に検証されている訳ではないとも言われている。9年制では小中高学年の児童は中間層になり、5・6年生の子どもたちが活躍する場が失われ、教育にとって大きな損失となるが見解は。

(答) まだまだ多くの課題があることは承知している。本町では連携型の小中一貫教育を基本に、高原町の実情に即した子どもたちの成長に、真に必要な形を実践検証し、実現

していく。

○統廃合と定住促進について

(問) 町は平成25年度の学校統廃合目標の実施時期について財政的に困難としている。

統廃合を推進する理由の中に小林市との合併、耐震調査を踏まえての学校整備を上げていた。現在、自立を選択し、校舎の耐震化工事も完了している。当時の状況も変わり、町長の掲げる定住化促進を図る上でも新たな判断を示す必要があるのでは。

(答) 現時点での本当に厳しい財政状況と立地する環境の整理が必要。

○子ども・子育て新システムについて

(問) 政府は子ども・子育て新システム関連法の骨子を決めた。新システムでは、保育を国、自治体が公的に保障するものから保護者が自分の責任で事業者からサービスを購入するものに変えるもので保護者の負担が大きくなる。新システムについてどう考えるか。

(答) 新システムに対する正確な情報が不足しており、国県の動向を見守り対応する。



温谷文雄議員

○中学校の武道の必修について

(問) 平成24年度から中学校の新学習指導要領で武道が必修となった。高原中は剣道、後

川内中は柔道を選択する。調査では、柔道で亡くなった中高生が2010年度までの28年間で中学生39人、高校生75人となっている。死亡事例から中高生ともに初心者と思われる1年生が半数を占めている。特に柔道は乱取りをさせるのか安全対策を図る必要があるのでは。

(答) 武道の選択は学校の判断によるところであり、高原中の剣道は設備、備品が整っていること。専門の先生がいること。後川内中はこれまで体育の授業で柔道を選択していたこと。安全対策は平成21年度から23年度の3ヶ年間、体育教諭の実技講習や柔道講習会を実施し、生徒個々能力に応じた指導ができるよう指導技術の向上に向けた取り組み、

対策を実施している。乱取りは2年生になり十分な受け身や基本的な技ができるようになってから、学校の判断でやると考えている。

(問) 新しく赴任した教師が専門外であった場合の対処は。

(答) 教師は基本的な考え方、技術的な事は身につけていると判断し、選択した種目を取り入れている。



宮司 勤議員

○第5次総合計画について

(問) 少子高齢化が進む中で、本町の10年後を見据えたまちづくりの指針が示されることになる。基本構想の中に町民

との対話と協調、参加と合意とあるが実施計画の策定に当たって町民の声をどう反映するのか、又策定期間はいつ頃か。

(答) 平成18年度に立ち上げた高原町まちづくり検討委員会の再開を考えている。実施計画の策定は本年7月末を目途にしている。

○若者の定住環境の整備について

(問) 人口の動態はそのまちの活力のパロメーターと言われる。遊休公共用地の活用方策として、若者向けに宅地造成を行い、一定の条件の基で分譲するような積極的な施策が必要ではないか。

(答) 分譲、斡旋等の諸事項を検討し、基本計画を策定したい。

○町内の空き家の実態と利活用について

(問) 町内に空き家が増加している。実態は把握されているか、又利活用の検討はどうか。

(答) 平成20年度に実態調査を行い26件の情報が寄せられたが多くの課題があり、移住定住事業として活用するまで至っていない。

○地方分権（地域主権）に向けた行政対応について

（問）地方分権が加速する中で住民とのまちづくりを共有するため、そのまちの規範とも言われる自治基本条例を制定する自治体が多くある。町民の意見や要望が施策に反映されるよう町民、議会、行政の役割と責任を定めた高原町自治基本条例の制定は考えられないか。

（答）今後、調査研究を行いその方向付けについて早急に検討したい。

○上広原十文字交差点の信号機設置について

（問）当交差点付近は見通しが悪く人身事故が多く発生している。陳情後の経緯はどうなっているか。

（答）町内4、760名の署名からなる陳情書をもって、小林警察署及び県警察本部に早急な設置を強く要望している。



▲上広原十文字交差点



入佐廣登議員

○農業振興 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）

（問）TPP参加は農業、だけにとどまらず商工業、建設業等多くの産業に多大な影響が懸念される。町長の見解は。

（答）各種団体と連携してTPP断固反対として国に要請していく。

（問）葉たばこ廃作農家は全国で4、106戸（39%）、面積4、412ヘクタールで、宮崎県435戸の713ヘクタールとなっている。本町の現状は。

（答）葉たばこ農家12戸（18・8ヘクタール）、内4戸（5・5ヘクタール）が廃作である。

（問）転換対策事業補助金が交付されている。本町の該当者は。

（答）農作業機械導入に伴う事業費が少額で該当者はなかった。

（問）平成22年度、町内92・58ヘクタールの遊休地があり今後補助事業等を導入、遊休地解消に努めるとあったが、現在の状況は。

（答）23・42ヘクタール解消され、現在

69・16ヘクタールである。

（問）花嫁対策について、現在は。

（答）23年12月2日に皇子原公園の民俗体験資料館で、町内男女14名で夜なべ談義を通じ、交流会を行った。

○土木行政

（問）小林市が市道西の原線帯刀河原橋の老朽化に伴い24年度から25年度にかけて架け替え工事が計画される。この橋の架け替えに伴い県道西麓小林線に通ずる延長約270mの拡張工事計画は。

（答）本町の財源等をかんがみ地権者の協力と小林市と協議を行い検討していく。



▲帯刀河原橋

○広原、狭野地区町営住宅について

（問）町営住宅の建設も含め前向きに検討するとあった。その後は。

（答）23年8月にプロジェクトチームを発足、定住化促進のため遊休公用地の有効活用、住宅建設促進、空き家を活用した定住化等を検討していく。

教育行政と観光振興



前原淳一議員

○ゆとり教育について

（問）学力の二極化が進むと考えられる。

（答）始業・終業式の行事を見直し、ゆとりある教育指導を行っている。

（問）二極化の対策は。

（答）7名の特別指導員の配置とサマースクール、さらに家庭教育がある。

（問）2学期制は教師にとつて負担が大きいと聞くが。

（答）負担感はない。

（問）連携型の小中一貫教育、教師に負担は。

（答）連携型の一貫教育に進めるための準備ということで大きな時間を科しているが、熱心に小中一貫教育を作り上げる意欲で取り組んでいると感じている。

（問）うつになる教師が増えていると聞くが対策は。

（答）過ごしやすい、ゆつたりとした雰囲気作りをするよう指導している。

（問）2学期制を廃止する考えは。

（答）考えはない。

○ユニバーサルデザインについて

（問）小学校で取り組む考えは。

（答）考え方を今後広めていきたい。

（問）全国大会への参加は。

（答）予定はない。

(問) 真剣に取り組めば観光客は増えると思うが。

(答) 積極的な導入は今後必要だ。

(問) 推進すれば観光客へのおもてなしにも繋がる。

(答) 弱者に配慮した観光のあり方は、全ての方に目を向けた観光に繋がる。官民間わずそう言う状況に努める。

(問) 温泉組合等と協議し、新たな観光客の誘致に力を入れるべきでは。

(答) 勉強をしながらの論議も必要だ。

(問) 環霧島会議との協力も必要では。

(答) 官と民、官同士の研修の提案も出ると考える。

○高原高校の跡地利用について

(問) 取り組みと考え方は。

(答) 県は本町の意見や活用方法をとり入れるとのことだが、県の責任で一定の整理を示して欲しい。

(問) 跡地を利用した野菜の水耕栽培を県との共同事業として取り組む考えは。

(答) スポーツ合宿や農業振興の拠点として提案をしているが、今後機会ある毎に要望をしていく。



▲高原高校



松元茂春議員

○道路整備について

(問) 都市計画道路として二葉村移線が現在一部だけ整備された状態のままであるが、この道路が開通すると、高原中学校、総合運動公園、また忠霊塔、町中央運動公園を結ぶ幹線道路として、さらに高原中学校の通学路として今後ますます利用が多くなると思うが、今後の道路整備計画の取り組みは。

(答) この道路は、総延長1,240メートルの計画で、



▲二葉村移線

現在840メートルが完了し、残りの400メートルについては、関係地権者のご理解を得られる状況になれば、町の財源状況を鑑みながら事業再開に取り組んでいけるよう検討していく。

○公共施設整備について

(問) 観光地の拠点である皇子原公園の神武の館の雨漏りなど早急な補修と、公園の景観を維持するため全ての施設の点検を行い公園を訪れる方々のために安心・安全な施設の提供をすべきであると思うが。

(答) 神武の館をはじめ野外ステージなど全体的に老朽化が進んでいる。このようなことから、現在、高原町観光拠点施設再整備検討委員会を立ち

上げ、施設の再整備のあり方について検討中である。今後、改修や廃止等を含め一体的な整備を進めていく。

(問) 現在、水車の破損、また、東屋の柱が腐り、これらの施設が利用できない状態である。非常に危険であり、早急な補修が必要であると思うが。

(答) 水車と東屋は、現予算の中で早急に改善するよう計画している。

総括質疑

議案第20号

○高原町消防団員の家族に対する功労報奨金の支給に関する条例

前原淳一議員

(問) 報奨金支給を5年以上とした理由は。

(答) 団員としての経験、実績を加味する必要があるということ、隣の小林市との均衡性を図った。

(問) 1年目の団員から支給対象とすべきでは。

(答) いろんな角度から検討した結果である。

議案第21号

○高原町介護保険条例の一部を改正する条例

鹿嶋重明議員

(問) 現在、介護保険料が3万9,600円だが、改正後5万6,880円になる計算方法は。

(答) 改正前は、3,300円の12ヶ月で、改正後は、4,740円の12ヶ月である。

議案第23号

○平成24年度一般会計予算

中村 昇議員

(問) 新燃岳噴火による活火山法の安全計画の実施と避難路の確保と財源は。

(答) 今年度、県の補助金で避難壕の設置と佐土会館の耐火工事と2ヶ所の屋外スピーカの増設を実施する。避難路については来年度対応したいと考えている。

(問) 高原町内にある砂防出張所の国の廃止の動きに対し、町の対応は。

(答) 自然災害等を認識し、宮崎県町村会は、一致反対で議決し国に存続を要望している。

(問) 国道となった村移線の防犯灯の設置は。

(答) 国道の防犯灯の設置予定はないが町道村移湯之元線、中平農免農道に6ヶ所と他に6ヶ所を予定している。

(問) 在宅介護者に対する支援策は。

(答) 介護用品の支給を月毎に一回紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋を6,250円の範囲で支給している。又、寝たきり老人等を見ている方には年2万円を支給している。

温谷文雄議員

(問) 日本全体が電力不足に陥る可能性もあり、町も工業団地を控え電力不足に対する、新たな電源としてクリーンなエネルギーが求められると思うが対応は。

(答) 工業団地への太陽光パネル業者の打診があつたが雇用が5~10人であつた為、慎重に検討している。高原高校跡地活用の太陽光等の企業であれば県と検討したい。高崎川付近での水力発電を国土交通省にお願いしている。

前原淳一議員

(問) 定住化対策についての対応は。

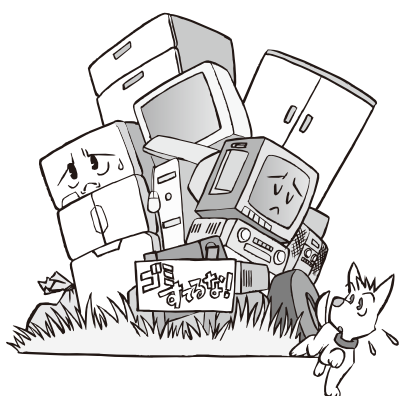
(答) 保育所等の整備の充実と就学前の医療の無料化を実施している。また、工業団地に5社目の立地が決定し、雇用は上向いている。安価な住宅供給も検討していく。

(問) もうかる農業の施策と高原ブランドの確立への行政指導は。

(答) 農業技術向上対策事業で支援していく。畜産については素牛の導入補助等をしている。高原ブランドについては農業技術向上対策としてモデル園をつくり進めている。

(問) 捨てられたゴミについては、今後ボランティアに頼るのか。

(答) 職員2名配置し、日々パトロールを行い監視している。ボランティア団体に回収袋の無料交付を一定程度する。保健所、警察等と連携し、西諸広域で監視を強めたい。



北迫 泉議員

(問) 財産収入の減額理由は。

(答) 教職員住宅の5戸が空き家となっているため。

(問) 定住化対策の住宅用地幹線事業の具体的内容は。

(答) 遊休町有地を定住化の促進、町内建設業者の育成、地域経済の振興を図るための基本計画の策定費用である。

(問) J R 吉都線100周年記念事業の中心は。

(答) 吉都線を取り巻く関係市町で、活用を図るため協議会を設置する負担金である。

(問) 日本で最も美しい村連合活動交流事業の中心は。

(答) 今年10月3日から本町で開催される同事業の環境整備費等の予算である。

松元茂春議員

(問) 町内遺跡の発掘調査事業はどこの遺跡か。

(答) 発掘現場は具体的に特定されてはいない。

宮司 勸議員

(問) 「1万人の笑顔あふれる高原復活事業」では居住環境、公共用地の整備を含め事業推進するべきだが考えは。

(答) 子育て支援、あるいは移住、定住等の考え方を総合的にまとめた計画書、実行プランは必要と考える。

(問) 差し押さえ不動産の物件件数は。

(答) 雑種地1件、田1件、畑1件の計3件で、内1件を合同購売会に提案する。

(問) 農業技術対策事業に変わるものは。

(答) 従来の作物の拡大と省力機械導入等に力点を置き事業展開していく。新規作物においては紅茶あるいは麦の定着化に努める。

(問) 畑かんが完成となった場合、農業技術専門員の養成は。

(答) 普及センターを中心とした支援を頂きながら進めている。又、知識を習得した職員を長く配置するよう工夫している。

(問) 古事記編さん1300年にちなんで神武の里高原をアピールするチャンスだが考えは。



(答) 日本で最も美しい村連合のフェスティバル、JR吉都線の事業を中心にPRに努める。

(問) 特化した事業の展開は。

(答) 県や関連機関と連携を取りながら進める。

入佐廣登議員

(問) 有害鳥獣捕獲班の人員は。

(答) 20名である。

(問) 農家が罾の資格を取るための予算は。

(答) 予算措置はしていない。



有害鳥獣により被害にあった作物

(問) 集落排水事業後の道路補修の対応は。

(答) 維持補修をしていく。

清水公雄議員

(問) 定住対策で用地の斡旋は。

(答) 遊休地処分、町有林の活用も含め、考える必要がある。今後具体的に示す。又、雑林地、山林、農地を含め法的にクリアできるか検討の必要がある。先進地の事例を調査研究し、一定の方向性を持つ考えだ。

(問) 地域にあった定住の住宅建設が先決と思うが。

(答) 町営住宅施策は1年かけて検討する。

(問) 町有林の杉は伐期が来ている。内需拡大のため、販売製品化の考えは。

(答) 財政の適正化を図りながら内需拡大を進める。

(問) わけもんパワー結集事業は24年度1年だけか。

(答) 若者達による実践的な活動を実施するが、継続できればと考える。

(問) 行政区の統廃合や班の運営について検討すべきでは。

(答) 適正な規模という数だけでは統廃合は難しい。地元からの要望があれば調整、検討の必要がある。

(問) ハイグレードの高原牛創出事業の内容は。

(答) 牛のつなぎ場、固定枠、移動式枠への2分の1補助で、上限5万円、対象農家数は10戸を計上している。

(問) タイヤロック購入事業の考え方は。

(答) 収納率向上対策として誠意のない滞納者には有効な手段である。



タイヤロック

(問) プロポーズ大作戦事業の内容は。

(答) 町外から各種産業への就業や、本町への移住を招致する目的で、研修後、気に入れば住んでもらう。24年度は検

証しながら補正も考える。



(問) 自衛隊の音楽隊が本町に来ると聞か。

(答) 海上自衛隊東京音楽隊の演奏会を6月11日に開く段取りで進めている。

議案第26号

○平成24年度高原町国民健康保険特別会計予算

宮司 勤議員

(問) 特定検診の受診率の向上対策について、具体的な考えは。

(答) 特定検診の希望調査を行い、未受診者の把握に努める。対策としては集団検診日数の増、日曜日の検診、若年層への健康教室、地区別の受診状況などの公表を行ったり、町内の医療機関との連携も考え

ている。受診率の目標値を、県の平均値を越える高い目標を掲げている。

(問) 健康推進委員を地区別に置き、未受診者の確認を徹底するべきでは。

(答) 未受診者の自宅を訪問して、受診勧奨を促す委託事業と、区長会等や地区に出向いての啓発も考えている。

議案第27号

○平成24年度高原町介護保険事業特別会計予算

中村 昇議員

(問) 総合事業は介護サービスの低下が懸念されるが町長の考えは。

(答) 現在は積極的な取り組みの考えはない。

前原淳一議員

(問) 介護度の見直しをせざるを得ない方々への影響と、国の更に踏み込んだ対策は。

(答) 介護度が下がった場合には、再認定という制度を利用し、再申請すれば良い。国は、在宅介護の方向性だが、家族の負担を考えたときに施設利用も重要になり、サービスの低下にも繋がると考えている。

議案第29号

宮司 勸議員

○平成24年度高原町後期高齢者医療特別会計予算

(問) 平成22年度の滞納者へ後期高齢者の医療保険証は交付しているか。

(答) 保険証は一律交付している。

議案第31号

○平成24年度高原町病院事業会計予算

(問) 現在、病院経営は健全経営がなされているのか。

(答) 経営は医療ニーズに応えながら安定している。

議案第33号

○西諸広域行政事務組合の財産処分について

(問) 最終年度の基金運用事業は。

(答) 西諸芸術文化連絡協議会の活動、西諸県体育指導委員協議会のスポーツフェスタの支援に151万円支出した。

議案第34号

○高原町第5次総合計画の策定について

(問) 運用益金の分配は県もあるのか。

(答) 県は、運用益分は望まず、出資金1億円を返金した。

議案第35号

○平成23年度一般会計補正予算(第11号)

(問) 子育てにかかる経済的負担の軽減策とは。

(答) 乳幼児の医療の助成、保育料の助成である。

(問) 学校施設の整備充実とは。

(答) 一つは統合による新築という観点、もう一つは老朽化が進んでいる校舎の修繕、改築という二つの観点で考えている。

(問) 交通弱者の生活交通手段の確保の考えは。

(答) 廃止路線代替バス、のりあいタクシーを今後も引き続き検討したい。

前原淳一議員

(問) 策定作業に入ったのはいつ頃か。

(答) 22年の3月から作業を進めてきたが、口蹄疫の発生、新燃岳の噴火で思うように進

入佐廣登議員

(問) 非常に大まかなので具体的に盛り込んでいく必要があるのでは。

(答) 基本施策で、方向性の計画書である。今後、実施計画を作っていく。

温谷文雄議員

(問) 高原町和牛ブランド確立対策事業における補助対象牛はどのような要件があるか。

(答) 父と母が平成9年以降生まれの種雄牛で、40万円以上の町内産雌子牛。尚、自家保留牛については前記要件を満たした郡品評会一等賞の雌子牛。郡品評会優等賞で40万円以上の雌子牛。サシ育種価が2・0以上で40万円以上の雌子牛。郡品評会で一等賞以上、40万円以上の全共・県共出品を目指す雌子牛である。

(問) 総計予算主義の原則、地方自治法第210条では一會計年度における全ての収入支出は、予算化しなくてはならないとの規定があるのに、この議案の予算書がないのは何故か。

前原淳一議員

(答) 自賠法第16条の規定に基づき被害者が保険会社に直接請求を行うので予算措置はしなかった。

(問) 緊急的に町内の道路の点検をしたのか。

(答) 原因となった個所は補修を行い、当路線には段差注意の看板を設置した。町内については点検を実施した。

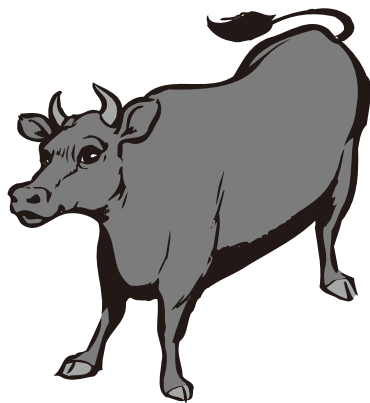
(問) 点検員を予算化したら。

(答) 予算化は検討していない。区長、班長さん達から連絡を受け補修している。

宮司 勸議員

(問) 町道が300km位あり町の過失割合の対策を、講ずる必要があるのではないか。

(答) 判例等の調査、対応マニュアル等の作成に向けて調査・研究を進めていきたいと考える。



議案第36号

○道路陥没事故による和解及び損害賠償の額を定めることについて



高原町より指定管理を受けて、4年目を迎えました。利用者さんが仲良く、常に健全で毎日楽しく明るく、生きがいある生活ができるように、「やさしい笑顔」をモットーにスタッフ一同でサービスを行っています。利用者さんに“幸せ”を提供することが、峰寿園の誓いでもあります。



『利用者定員数』

50名

『入所対象者』

おおむね65歳以上であって、身体上又はその他事情による方が利用できます。
特定施設入居者生活介護・・・介護保険によるサービスが受けられます。
訪問介護・・・・・・・・・・介護保険によるサービスが受けられます。

『所在地』

高原町大字広原5051番地7

編集後記

国や地方（都道府県や全市町村）の借金を高さ、長さに例えてみましょう。

高原町は平成22年度末で一般会計の借金が約67億5千万円です。

それでは67億5千万円の高さはいくらでしょう。1万円札で1億円は約1mの高さです。町の借金の高さは67m50cmになります。国や地方の合計借金は4月20日現在で約892兆2300億円ですから1万円札を横に並べたら、東京からアメリカのダラスまで届く長さとなります。

国や地方は大変な借金をしています。借金を多く抱えたギリシャ、イタリア、スペインは国家破綻的な危機的状况となっています。借金は返さなくてはなりません。子や孫に借金を残してはいけな思考えます。

温谷文雄